



こころの虹

OIKAWA HOSPITAL INFORMATION KOKORO no KAKEHASHI

♥ホームページ URL <http://www.oikawahp.net>♥Eメール address info@oikawahp.net

編集・発行

医療法人 にゅうわ会

及川病院

〒810-0014

福岡市中央区平尾2丁目21-16

TEL 092-522-5411

No. 29 2013年06月 発行

患者様の権利と義務

患者様には「ご自身が生命の主人公」として、医療従事者とのよりよい人間関係を築いていきますよう以下の「守られていること」「守っていただきたいこと」があります。

人 格 権

患者様は個人としての人格、価値観などを尊重されます。

受 療 権

いつでも必要かつ十分な医療サービスを受けるために、医療機関を選択する権利があります。

知 る 権 利

病名、病状、診療計画、検査・手術、薬、必要な費用などについて、納得できるまで説明を受ける権利があります。

同時に、私たちに既往歴、現病歴、現在の治療内容、アレルギー歴など健康に関する情報を正確にお伝えください。

自 己 決 定 権

十分な説明を受け、理解した上で、提案された診療計画などを自らの意志で決める権利があります。

同時に、それらの内容に関する指示を守る義務があります。納得できない場合は、他の医師や医療機関の意見を求めることができます。

プライバシーに関する権利

個人の秘密や医療に関する個人情報を守られ、私的なことにみだりに干渉されない権利があります。

参 加 す る 権 利

診療内容や病院の運営につき苦情や意見を述べ、医療改善の活動に参加する権利があります。安全性を高めるためお名前の確認などにご協力ください。

アンジェリーナ・ジョリーさんが受けた予防的乳房切除の話題はセンセーショナルなものとして、いろんなところで取り上げられました。決して初めてのケースではないのですが、世界的女優が受けた手術だったのでこういう現象が起きたのでしょう。当院の久松医師や白石師長が行った講演会でもそれに関する質問が出たといひます。情報が伝わるスピードは一昔前とは比べようもなく、その数の多さについてはもはや氾濫状態ともいえます。

そこで危惧されるのは情報の内容です。例えば前述の予防的乳房切除についても、検査結果から将来の乳がん罹患を防ぐために切除してよかった、というような単純な話ではありません。誰でもが簡単に出来て、誰にとっても良いことなら早く広がるものです。倫理や人の人生観や費用など数多くの問題を孕んでいます。この問題に限らず医療の多くはそういうものです。新聞や雑誌の数行で事足りるようなものではありません。ましてやワイドショーでのコメンテーターの話がすべて正しいかというと疑問も残ります。

情報を目にしたり取り入れたりすることは、考えるきっかけにはとても良いことです。しかしそのあとはじっくり考えたり、専門医と話をしてみましょう。

遺伝性乳がんについては当院で「遺伝相談外来（遺伝カウンセリング）」を設けています。

いきなり検査をするのではなく「相談をする」「カウンセリングを受ける」外来です。気になることがあったらどうぞお越しください。



遺伝相談外来（遺伝カウンセリング）のご案内

当院では、遺伝性乳がんを心配される方のために、専門医による『遺伝相談外来』を開設しています。

外来担当医より

乳がん全体のうち5～10%が遺伝性と言われていいます。特に、BRCA1遺伝子とBRCA2遺伝子に生れながら病的変異がある場合を遺伝性乳がん・卵巣がん症候群と呼び、乳がんや卵巣がん（若年で）かかる確率が非常に高くなることが知られています。これらの遺伝子に変異が有るか無いかは、実際に患者さんの遺伝配列を読む遺伝子検査で行われますが、検査の結果がご家族に与える影響についても良く理解していなければなりません。

遺伝性乳がん・卵巣がん症候群であっても、治療の基本は早期発見・早期治療です。若年で発症する、もう一度別の乳がんが発症する、乳がんだけでなく卵巣がんも発症する、などの可能性が知られているので、それに合った適切な検診や手術術式の選択が勧められます。

遺伝カウンセリングでは、遺伝に関する専門家が患者さんやご家族におけるがんの既往歴を基にリスク評価を行い、ひとりひとりに合った治療や検診等を提供します。乳がんの遺伝性が心配なときは、気軽に遺伝カウンセリングを受診されることをお勧めします。

■ 担当医 及川将弘 【臨床遺伝専門医・外科専門医】

■ ご予約・お問合わせ

- ・ TEL 092-522-5411
- ・ 予約受付 9時～17時（日祝除く）
- ・ 診療日 毎週土曜日（完全予約制）

■ 遺伝カウンセリング料金

- 初回 5,000 円 2回目以降 3,000 円
- ・ 遺伝カウンセリングは自費診療です。
- ・ 遺伝子検査は別途、実費負担となります。



当院は、遺伝性乳がんや卵巣がんについて定期的に検診を行っています。お一人お一人に、お名前にご対応いたします。

～及川病院講演報告～



◆5月11日 AFWJ講演会と病棟見学



『日本のホスピスとは』

講師：稲光緩和ケア部長

日本在住の外国人夫人の方々が、是非日本のホスピスについて学びたいとのことで開かれました。
活発な英語のディスカッションが熱心さを物語っていました。

◆5月25日 日本新薬株式会社社員研修会にて講演



『男性にも知ってもらいたい乳がんの話』

～家族やパートナーが乳がんになったときの心の持ち方～
講師：久松乳腺外科部長

白石乳がん看護認定看護師



◆6月2日 ALOHA乳がん撲滅プロジェクトにて講演



『知ってほしい“乳がん”』

講師：白石乳がん看護認定看護師

フラダンス発表会の合間、フラガールの皆さん真剣に聞き入っていらっしゃいました。

母の日乳がん検診応援キャンペーン

母の日恒例 乳がん検診

乳がんの早期発見は、乳癌専門病院の重要な役割だと及川病院は考えています。

乳がん検診に行きましよう
親子でいっしょに
友達といっしょに
「お菓子の店パンの森」の
素敵なクッキーをプレゼント
自分たちのために家族のためにも
大切な身体を大切にしてください。



乳がん検診に行きましよう
親子でいっしょに
友達といっしょに
「お菓子の店パンの森」の
素敵なクッキーをプレゼント
自分たちのために家族のためにも
大切な身体を大切にしてください。

◎対

象：「母の日のプレゼント」ですが、既婚・未婚、新患・再来は問いません。

◎期

間：平成25年 5月 1日～ 6月29日の間に受診された方。

◎予

約：必ずお二人以上、同日同時間帯でご予約ください。

ご予約のお電話はどなたか代表で構いません。
その際「母の日キャンペーンで申し込む」とお伝えください。

◎検 診 内 容：

『自費による乳がん検診』となります。
詳しい検診内容につきましてはご予約の際にお尋ねください。（医師の指定はできません。）

◎プレゼント：

検診終了後に『パンの森』のクッキーを受付にてお渡しします。

受付時間／ 9：00～17：00

TEL 092-522-5411

ホームページは『及川病院』で検索
携帯電話からはこちら→



ご 予 約 く だ さ い

対 象：「母の日のプレゼント」ですが、既婚・未婚、新患・再来は問いません。
症状の無い方の検診に限ります。女性の方のみ。

期 間：平成25年5月1日(水)～6月29日(土)の間に受診された方。

予 約：必ずお二人以上、同日同時間帯でご予約ください。ご予約のお電話はどなたか代表で構いません。その際「母の日キャンペーンで申し込む」とお伝えください。

検 診 内 容：自費による乳がん検診となります。詳しい検診内容につきましてはご予約の際にお尋ねください。（医師の指定はできません。）

プ レ ゼ ン ト：検診終了後にパンの森のクッキーを受付にてお渡しします。

医療法人にやうわ会
及川病院
福岡市中央区千代2丁目21-16(千代駅より徒歩5分)

☎ 092-522-5411
受付時間／平日9：00～17：00 土曜日9：00～17：00
ホームページは [及川病院](#) で検索

5/1～6/29 (水)～(土)

写真を撮られる人気者の
花咲いさん。



綿菓子を作るスタッフの周りには
子供たちの輪ができていました。

花咲いさんと記念写真。



2013年 さくら祭り IN 及川病院

今年は春の訪れが早かった為、当院のさくら祭りはソメイヨシノからやや遅れを取ってしまいました。しかし、恒例の花咲いさん(Dr.稲光)は笑顔と花びらを振り撒いて患者様に春を告げに参上しました。今年は、患者様のご家族にバイオリンの演奏をしていただきました。心のこもった音色で家族の絆の素晴らしさと、家族力のミラクルを教わる事ができた素敵な時間でした。



ミニホットケーキを焼きました。



ご家族によるバイオリン演奏。
入院中のお父様もリズムをとって演奏
に聴き入ってらっしゃいました。



患者様とご家族そしてスタッフの手作り
感あふれるアットホームなお祭りになり
ました。



乳がん患者会『すみれの会』の紹介

当院にはすみれの会という乳がん患者様のための会があります。
平成15年10月の第1回の開催から早いもので9年がたち、この春には110回を迎えました。
毎月1回、当院の3階乳腺病棟談話室において懇親会をはじめ色々な“元気がもらえる楽しいこと”を行っています。

懇親会では不安を抱えた患者様への先輩からのアドバイス、病気に関する情報交換、時には辛い体験談にしみりすることも・・・、患者会には同じ経験をした者同士だから分かること、分かってもらえることがあります。でも、多くの時は笑顔と笑い声に満ち、「皆さん本当にがん患者さん？」と疑うほどのパワーがあふれています。懇親会の他にはフラワーアレンジメント、カラーコーディネート、風呂敷包み、夏バテ解消レシピ、代謝をあげる運動などの色々な教室を開催したり、花見や食事会にも出かけます。よかったら一度覗いてみませんか。参加についてのご相談は看護師にどうぞお尋ねください。



「代謝をあげる話し」を真剣に聞く皆さん



フラワーアレンジメント教室の風景

開催日時：毎月第3土曜日 13:30～15:00迄
場所：当院3階病棟談話室
会費：毎回300円、入会費不要
参加条件：乳がんの女性であれば、
他院の患者様でも参加できます



乳癌の診断、治療から再発までの無病期間は 5～10年までが多く、たとえば、1,547 例の乳癌患者の再発の大部分は術後10年以内に起こり、26～45年では192例に1例の再発がみられたのみでした。この時期の後では再発はまれであり、死亡率は一般住民と違いがなく、再発または対側乳癌の発生がなく、この期間を経過するとおそらく治癒したと考えられます。

乳癌はときに非常に長期の無病期間後に再発し、これは乳癌細胞の不活動状態（休眠状態）が起こるためであるという仮説が生まれました。上述の集団の乳癌の不活動状態の限界は 20～25 年と考えられます。不活動な微小転移は長期間にわたり無症状であり、臨床的に検出不能です。これは癌の増殖とアポトーシスの関連、血管新生などが関与すると考えられます。また、前述のように、乳癌幹細胞の存在によるという意見もあります。術後の補助療法により乳癌の大部分は消滅しても、少数の癌幹細胞は治療に感受性がなく、生き残り、再発の原因となると考えられています。現在の化学療法やホルモン療法と併用した乳癌幹細胞に対する治療法が探索されています。

最近の研究によると、それぞれの乳癌は特定の臓器に転移しやすく、乳癌が転移するか否か、どの臓器に転移しやすいかは、原発乳癌の複数の臓器特異性の転移遺伝子と受け入れ側の個々の臓器の遺伝子の発現の組合せによると考えられます。乳癌の、例えば肺転移を起こしやすい遺伝子の過剰発現が肺転移を予測しました。また、肺への転移と骨への転移を媒介する遺伝子は異なり、個々の乳癌は独自の遺伝子群をもっています。さらに、転移しやすい癌細胞は転移しにくい癌細胞と異なった性格を示し、臓器特異性の転移遺伝子は予後不良の遺伝子（群）とは異なります。個々の乳癌はこのような遺伝子の独自の組合せをもち、その全部または一部が増幅/過剰発現することによりその乳癌の性格が決まると考えられます。乳癌がどのような臓器に再発するかにより、その後の経過や治療の効果が違います。

臨床的に明らかな癌転移は癌細胞が原発癌から分離し、直接またはリンパ系を経て血管内に侵入することにより成り立ちます。末梢血内や骨髄内の癌細胞を検出することは、将来の転移を予測し、微小転移細胞の存在は予後不良の因子であります。末梢血または骨髄内癌細胞は、1 個の細胞のレベルで検出、同定が可能となった。一方、臨床的な潜在性転移は、高解像度の画像診断でも検出不能であります。

次回からは再発・転移の予測と予後因子について述べます。